



いわて医療通信

【加齢に関連する眼の異常】

1. 結膜下出血

結膜下出血 心配ご無用の結膜下出血

血は、白目の表面の粘膜炎である結膜、もしくはその下層のテノン嚢や強膜の血管が出血で、軽いものでは刷毛で描いたように重いものでは結膜をべったりと塗りつぶしたように赤くなる

ことが特徴です。同じように「眼が赤くなる」に分類されるものとして「充血」があります。充血は血管が拡張して結膜が赤く見えるもので結膜下出血とは違い、血管の一本一本が明瞭に確認できます。充血に伴う症状は、ゴロゴロ感や痒み、熱感、ときに痛みなど

があります。どちらかとい

えば充血の方が重症で、原因に依りて点眼薬での治療

が必要になります。

結膜下出血は、白目の表面の粘膜炎である結膜、もしくはその下層のテノン嚢や強膜の血管が出血で、軽いものでは刷毛で描いたように重いものでは結膜をべったりと塗りつぶしたように赤くなる

ことが特徴です。同じように「眼が赤くなる」に分類されるものとして「充血」

があります。充血は血管が拡張して結膜が赤く見えるもので結膜下出血とは違い、血管の一本一本が明瞭に確認できます。充血に伴う症状は、ゴロゴロ感や痒み、熱感、ときに痛みなど

があります。どちらかとい

えば充血の方が重症で、原因に依りて点眼薬での治療

が必要になります。

結膜下出血は、白目の表面の粘膜炎である結膜、もしくはその下層のテノン嚢や強膜の血管が出血で、軽いものでは刷毛で描いたように重いものでは結膜をべったりと塗りつぶしたように赤くなる

ことが特徴です。同じように「眼が赤くなる」に分類されるものとして「充血」

があります。充血は血管が拡張して結膜が赤く見えるもので結膜下出血とは違い、血管の一本一本が明瞭に確認できます。充血に伴う症状は、ゴロゴロ感や痒み、熱感、ときに痛みなど

があります。どちらかとい

えば充血の方が重症で、原因に依りて点眼薬での治療

が必要になります。

結膜下出血は、白目の表面の粘膜炎である結膜、もしくはその下層のテノン嚢や強膜の血管が出血で、軽いものでは刷毛で描いたように重いものでは結膜をべったりと塗りつぶしたように赤くなる

ことが特徴です。同じように「眼が赤くなる」に分類されるものとして「充血」

があります。充血は血管が拡張して結膜が赤く見えるもので結膜下出血とは違い、血管の一本一本が明瞭に確認できます。充血に伴う症状は、ゴロゴロ感や痒み、熱感、ときに痛みなど

「なんだか眼がゴロゴロと鏡を見てみたら白目が真っ赤になっていて、もうびっくり。そういえば赤くなる前に眼がチクッと痛かった気もするの。うちの

人に見てもらったら、すぐに病院に行けって言われたので来ました」

結膜下出血の患者さんが言われる来院の動機です。結論から申し上げますと、これはなんら心配がいらぬ

疾患で、何もしなくても治ります。ただし、見た目がかなり派手ですから、何か

重大な病気にかかったのではないかと不安を持たれる

代表的な疾患でもありません。眼をぶつけた、こすったなどの物理的な誘因で起こることも、もちろんあります。その一方で、なんら

誘因がなく出現することが多々あります。この場合、結膜下出血が起こる原因は

ほとんどが加齢による血管の一次的な破綻で、治療法

はなく、実のところ結膜下出血に効果があるとされる点眼薬は一つも存在しません。程度にもよりますが、軽いものでは1、2週間で、

写真の方のように重いものでも4週間程度で自然に吸収されて元に戻ります。



田中三知子

岩手医科大学
眼科学講座講師